



<検定対策コラム 第四回 5級レベル筆記>

正解への対策ポイント

5級に挑戦なさる皆さん、検定へようこそ！ 検定試験の問題は〈聴きとり〉と〈筆記〉で構成され、〈筆記〉はさらに1. 文法、2. 語彙、3. 読解の3つのパートに分かれています。ここでは「文法」についての対策ポイントをいくつかあげてみます。

5級の文法項目は、冠詞、名詞、形容詞、所有形容詞の基本的な性数変化。動詞は *essere*、*avere*、規則活用 of *-are*・*-ere*・*-ire* 動詞、*andare*、*venire*、*fare* など使用頻度の高い不規則動詞の活用形と主な使い方、つまり、文法のテキストや参考書の最初の方にまとめて記載されている項目です。登場頻度の高い *mi piace* ~ 「私は〜が好きです」などが、言い回しとして登場することもあります。

動詞活用形の正答率はいつもかなり高めです。大事な活用形を皆さんしっかりチェックしていらっしゃるの頼もしいです。

でも、活用形だけ知っていても実際の会話にそのまま役立つとはかぎりません。動詞の前後に必要な言葉で補わないと、言いたいことを伝えられませんね。その際、なかなか一筋縄でいかないのが前置詞です。たとえば

1. *Ciao Mamma, io* ① [*usco uscio esco*]. *Vado* ② [*a da in*] *cartoleria a comprare dei quaderni*. 「じゃあね、お母さん、出かけるよ。文房具屋にノートを何冊か買いに行ってくる」 (40回 2015 春季 正答率 N.31①74.4%、N.32②24.4%)

不規則動詞 *uscire* の活用形 *esco* は高い正答率ですが、*andare in cartoleria* の前置詞 *in* には苦戦した方が多いようです。「〜へ行く」の前置詞は *a*、*da*、*in* のいずれもありえます。*andare da lui* 「彼のところへ行く」のように次に「人」がくる場合は〈*da*〉と決まっていますが、悩ましいのは次が「場所」を表す名詞の場合。*andare a scuola* 「学校へ行く」もあれば、*andare in piazza* 「広場へ行く」もあり、といった具合です。「*a*」か「*in*」か…、*cartoleria* のように *-eria* で終わる名詞なら *in pizzeria* (ピッツァ店)、*in macelleria* (肉屋) と *in* を使います。これを知っていれば迷わなくてすみますね。どうして *a* ではダメなの？と疑問が湧くのは当然ですが、ここで悩むよりもそのまま覚える方がはるかに効率的。たくさんの用例に接しながら、慣れていくのが一番です。たとえばこの問題文にも、ほかに *andare a* + 不定詞「〜に行く」の用法が含まれています。こうしたものが目についたら、その都度チェックしておきましょう。

前置詞はもちろん、動詞以外のものともセットになります。

2. *Vado in Italia per lavoro due volte* [*un in all'*] *anno*. 「私は仕事で年に2回イタリアに行きます」 (38回 2014 春季 N.44 正答率 47.7%)

半数近い方が正解しましたが、英語に引きずられると足を掬われかねない問題ですね。「1年につき」、イタリア語では前置詞 *a* を使って *all'anno* です。そしてこの問題文にもまた、*andare in Italia*、*per lavoro* という前置詞のチェックポイントがあります。

前置詞の用法は多岐にわたるので、たとえば *a* と *in* は「〜に」、*da* は「〜から」のように単純に意味を覚えるわけにはいきません。つねに前後の言葉と組み合わせる使い方を把握しておくことが大切です。たくさんの例文との出会いを心がけましょう。

さて、英語の知識が邪魔になりそうな例をあげましたが、次は、英語がプラスにもマイナスにも働く問題です。

3. *Questa sera non* ① [*voglio vorrei ho voglia*] *di uscire*. ② [*Rimano Rimango Rimasto*] *a casa e* ③ [*entro vado faccio*] *a letto presto*. 「今晚私は出かけたくない。家にいて早く寝ます」 (39回 2014 秋季 正答率 N.47①31.0%、N.48②48.3%、N.49③ 82.4%)

②の不規則動詞 *rimanere* の活用形は半数近い方が、③にいたっては8割以上の方が正解しました。*andare a letto* という語法を知らなかったとしても、英語の *go to bed* から類推できますね。一方、①の正解者は3割にとどまっています。「〜したい」は *volere* なので、*voglio* または *vorrei* を選びたいところですが、不定詞 *uscire* の前の前置詞 *di* が目障りです。イタリア語では、*volere* も *potere* や *dovere* と同じように、直接、動詞の不定詞を従えます。*volere di* のように前置詞 *di* をとることはありません。英語の〈*want to* 不定詞〉とは違うのです。しかし、〈*volere*+不定詞〉と同義の〈*avere voglia di* + 不定詞〉という語法があるので、そちらを使えば、*di* の居場所も確保できる、というわけです。

イタリア語の勉強に、英語などヨーロッパ言語の知識が役に立つことは間違いありません。しかし、それにあまり頼りすぎると思わぬ失敗をしかねません。イタリア語ならではの特色に馴染んでいきましょう。

(白崎容子：元慶応大学教授)

＜受験体験記＞

この度運良く1級に合格することができ、僥倖ながらこの体験記を書かせて頂く運びとなりました。

イタリア語を始めたのは就職した後のことで、留学することは叶わず、日本で細々と勉強を続けました。そのせいかどうかはわかりませんが、リスニング力、スピーキング力において周囲のイタリア語学習者の方々と比べて非常に劣っており、それが長い間私の悩みでした。同じ悩みをお持ちの方も多いかと思われま。

私は特にリスニングが苦手で、克服するためにはやはりたくさんイタリア語を聴くしかないと思い、検定の過去問題のCDはもちろんのこと、amazon.itなどでイタリア語の音声教材を買い求めて聴きました。聴き取りが難しい場合は再生速度を落として聴き、その後徐々に速度を上げていくという方法をとりました。聴き慣れたCDは逆に、速度を上げて聴き、聴きとれた内容をできる限り書き取る訓練をしました。以前は、本番の際に緊張で頭が真っ白になったりしていたのですが、毎日練習を重ねることで、少しずつ落ち着いて受験できるようになったのです。

スピーキング力を身につけるのも困難なことでした。国内で勉強しているとどうしても会話を練習できる機会は少なくなります。文を頭の中で組み立てるのに長い時間がかかってしまう、という悩みをお持ちの方もいらっしゃると思います。森口いずみ先生が執筆された『口が覚えるイタリア語 スピーキング体得トレーニング』という本を使用し、文を素早く正確に組み立てて言う練習をしました。文を組み立てる速度が上がると、会話もだんだんスムーズになっていくと思います。テキストの音読練習も役に立つのではないのでしょうか。

また、単語や表現の習得にも力を入れました。筆記試験には語彙問題が出題されます。問題は、文脈から答えを類推できないように作っており、そのために真の語彙力が必要とされるのです。たくさん文を読み、そこに出てくる単語を拾ってノートに書いて覚えました。単語を覚えることは筆記試験に役

立つだけではありません。リスニングができないのは単語を知らないことが原因である場合も多いと聞きます。単語を増やしていくことで、リスニング力のアップも図ることができました。

それでも実際のところ、合格までの道のりは非常に険しく、何度不合格通知を受け取ったか分かりません。受験しても「どうせ落ちるのだから」とあきらめかけたこともありましたが、それでも、あきらめずにトライし続けてよかったと思っています。ただし、合格したからといってこれで終わりではありません。これからも日々精進していきたいと思っています。

最後までお読み頂きましてありがとうございます。
I.I. (2015年秋季 1級合格)

~~~~~

転職するタイミングで時間ができ、イタリアへ旅行したのがきっかけでイタリア語のレッスンに通い始めました。

3年目になりますがなかなか復習に身が入らず、上達できないなと思っていたところに、「検定試験を受験してみたら？」とお誘いを受け、自分のレベルチェックも兼ねて5、4級を受けてみることにしました。

語学(英語)は大の苦手、イタリア語のレッスンに通っているのも奇跡なのに、検定試験を受けるなんて夢のようです。

しかし、過去問題をやってみましたが想像以上に難しく、リスニングや単語の理解ができないと痛感しました。

これではいけないと思い、耳が慣れるように毎日1回でもリスニングを聴くようにしたり、単語もわからないものは辞書で細かく調べたり、関係する語彙も一緒に色々見るようにしています。

少しずつではありますが、単語の意味がわかるものが増えてきました。

このまま検定試験に合格して、少しは自信を持ってイタリアへ行きたいです。

H.R.  
(その後H.R.さんは見事5級に合格なさいました)

## 検定ニュース

### ◇2016年春季第42回試験志願者数報告

(受験者数/志願者数)

|      | 準2級     | 3級      | 4級      | 5級      | 合計        |
|------|---------|---------|---------|---------|-----------|
| 札幌   | 8/8     | 7/8     | 8/10    | 10/11   | 33/37     |
| 仙台   | 5/6     | 8/9     | 12/15   | 5/7     | 30/37     |
| 東京   | 110/125 | 176/207 | 243/294 | 162/217 | 691/843   |
| 横浜   | 13/13   | 39/47   | 29/37   | 28/35   | 109/132   |
| 金沢   | 1/1     | 4/4     | 7/12    | 6/8     | 18/25     |
| 名古屋  | 17/18   | 22/29   | 37/44   | 23/29   | 99/120    |
| 京都   | 27/31   | 31/36   | 56/61   | 19/21   | 133/149   |
| 大阪   | 37/40   | 55/63   | 81/100  | 45/54   | 218/257   |
| 岡山   | 3/3     | 4/6     | 8/12    | 10/14   | 25/35     |
| 広島   | 4/4     | 5/5     | 6/6     | 4/6     | 19/21     |
| 福岡   | 2/2     | 11/14   | 17/19   | 12/15   | 42/50     |
| 宮崎   | 1/1     | 0/0     | 6/7     | 4/4     | 11/12     |
| 那覇   | 1/1     | 1/1     | 1/1     | 1/1     | 4/4       |
| ローマ  | 5/5     | 7/7     | 2/2     | 1/1     | 15/15     |
| ミラノ  | 14/16   | 9/10    | 2/2     | 2/2     | 27/30     |
| 計    | 248/274 | 379/446 | 515/622 | 332/425 | 1474/1767 |
| 合格者数 | 77      | 128     | 240     | 217     | 662       |
| 合格率  | 31.0%   | 33.8%   | 46.6%   | 65.4%   | 44.9%     |

● 3級6ページのN15に、会話に登場する人物とは異なった名前が記載されており、会場で訂正いたしました。今後、さらに校正を徹底いたします。

● 大阪会場、703号室の再生装置に不備があったために音飛びが発生し、大変ご迷惑をおかけしました。次回はこのようなことの無いよう、新しい装置を導入することを会場に確約させました。



## 第 42 回検定でのアンケートから、受験者の感想などをピックアップしてみました

-> <でくられた部分は事務局からのコメントです。

●要項と一緒に同封されていた会報の白崎先生の準 2 級についてのコラムがとても参考になりました。続けて欲しいです。準 2 級 ->はい、対策コラムは会報や HP で続けて参ります。< ●花粉症の人は別室で受験できるようにして欲しいです。花粉症でない人は雑音によるストレスがなくなり、花粉症の人も気兼ねなく受験できると思います。->部屋数と監督者数が 2 倍必要になりますので……(汗)。< ●解答用紙を配られた後、名前、受験番号など、事前に記入して良い部分をいつ記入開始して良いかアナウンスして欲しかったです。->今後、試験監督のマニュアルを整備し、徹底いたします。< ●隣の人がリスニングの際に鼻をかんでかんでかんで参った。その後の数題に影響し、鼻如きに攪乱された我が身が情けない。しかし、今度は試験開始前に鼻をかんでね。●試験が始まる 1、2 分前に隣の人が到着し、携帯で写真を撮っていました。集中が切れた。入室時間の制限をして欲しい。また、小さい声で問題を読んでいる声も気になった。集中できないとても辛い試験だった。とても悲しい。->快適に受験していただける環境作りに皆さんで協力していただきたいものですね。< ●事前勉強があまりできず、なかなか難しかったが、音声はとてもはっきりしていて聴きとりやすかったです。実際の会話はこのようにきれいに発音してくれないので、実践でも聴き取れるかは別の話になりそう。●初めて受験したが、大学でイタリア語を学んでいるため、このような実力を試す機会があるということがとてもありがたいと思いました。4 級 ●学習ツールが充実してきており、協会は頑張っていると思う。過去問もやり、問題集も 2 冊解いたが成績につながっていないかも。参考書が多くないので対策が悩ましい。今回 4 級 3 回目。->これからも学習ツールの充実に努めて参ります！< ●今回初めてイタリア語検定を受けましたが、リスニングの量に驚きました。リスニングの音量チェックを試験開始前にして頂いたのはとても良心的だと感じました。他の試験ではそのようなことがなかったので新鮮でした。●3 階でエスカレータを上った場所にフロアの受験番号別の教室案内を掲示して欲しい。教室を探す際に効率良く探せます。東京 ->次回から改善いたします！< ●他の受験者への配慮をするようにアナウンスする等、他の検定試験では見られないような工夫がみられ、とても気持ち良く受験できました。東京 ->ありがとうございます。励みになります。< ●携帯のバイブ音が聞こえ、気になりました。->困ったものですね。さらに注意を徹底いたします。< ●難しかったです。2 度目の挑戦なので、受かっていると良いのですが、普段覚えているはずの簡単な単語 (macchina とか) がなかなか出てこなくて、自分にびっくり！です。3 級 ●試験官の方の案内がはっきりしていてスムーズに受験できました。ありがとうございます。東京 ●半過去、関係代名詞、比較級にてござりました。もっと学習するときは、発音練習をしっかりと行い、イタリア語を自分の言葉できちんと話せるようになりたいです。3 級 ●持参する物の案内に時計があると嬉しかったです。->検定要項、HP、そして受験票にも「時計を持参すること」と記載してあります。< ●過去問題の入手のし易さがあります。引き続き頑張ってください。3 級 ●e ラーニングが高い (とてもいいシステムだと思う)。あなた方はイタリア語を広めたいのか、それともイタリア語で儲けたいのか。3 級 ->e ラーニングのシステムへの入力は、時間に余裕があるとき、事務局員が全て手作業でコツコツとやっているのですが、とんでもなく手間のかかる作業です。1 講座を仕上げるのに丸々 3 日はかかります。売上金額は、システムの使用料や PayPal の手数料などを差し引くと、50% に満たない額 (ちなみにコンビニ・プリントの場合は 35% に過ぎません) で、年間の総売上は 10 万円そこそこです。利益を目的にしているのであれば、とてもワリの合う作業ではありません。それでも営々とコンテンツを追加しているのは、ひたすらイタリア語を広めたい、学習者に手軽な教材を提供したい、という思いがあるからに他なりません。ご理解いただけると嬉しいのですが……。< ●いつも楽しい内容の問題を作ってください、ありがとうございます。受験者数が増えてもっと盛り上がってくると良いですね。先日、電車内でイタリア語の単語帳を見ていた年配の方に検定のことをお話したのですが、知らなかったと言ってました。3 級 ●キャンパスに入ってから、17 号館に着くまでに何か道案内があれば嬉しかったです。東京 ->正門から 17 号館までの 2 か所に大きな看板を置いてあったのですが……。< ●テストの答えを帰るときにプリントしてもらえれば嬉しいです。ちなみにフランス語検定のときはもらえました。->同日に、時差のあるイタリア (ローマとミラノ) でも試験を実施するため、当日の解答配布はできません。< ●ギリギリの入室になってしまいましたが、教室外の案内の方が落ち着いて丁寧に教えてくださった。東京 ●HP にたくさん情報が載っていて良いと思います。5 級 ●検定試験であるのに本人確認のチェック (ID と受験票をチェックするなど) が無いことを不思議に思いました。->現状では、とても本人確認をするのに必要な人数のスタッフを配備するのは難しいです。< ●何もかも行き届いていて何も不満はないです。聞いてはいましたが、やはりヒアリングは難しいです。ダイアログの長さがもう少し短くてゆっくりで文章と文章の間が空いていればかなりわかると思うのですが。でもこれは勉強不足ということですね。5 級 ●検定 HP の過去問サンプルが大変役に立った。ありがとうございます。5 級 ●熊本にはイタリア語教室がありませんので、ほとんどが独学での受験となり不安でしたが、なんとかできたように思います。4 級のときと同様、リスニングをもっと強化する必要があると感じまし。3 級 福岡 ●前回ミラノで受けたとき、道案内がわかりにくい (どの地下鉄の出口から出ればいいのか) と記載したところ、すぐに HP で対応していただけたのは良かった。今回は名古屋会場で受けたが迅速な対応、ありがとうございます。->できることはすぐに対応し、受験者の皆さんの便宜を図るよう努力しております。認めていただけて嬉しいです。< ●受験者に WEB で公開している過去問 (マイページで見れる問題) の公開期間をもっと長くして欲しいです (できれば次々回まで)。前回の第 41 回問題が早々と見れなくなり残念でした。->システムの制約上、次々回までは不可能ですが、次の検定の受付開始までは閲覧していただけるようにいたします。< ●イタリア人ハーフの 7 歳の娘と一緒に受けました。これがテストデビューなので心配しましたが、会場の方に親切にご指導いただきありがとうございます。合格はともかく、テストの雰囲気を経験することで、今後イタリア語を学ぶモチベーションが高まってくれればと思います。ありがとうございます。5 級 京都 ->その場でご説明していると、他の方の集中力の妨げになりますので、次回は問題冊子やマークシートに書かれている日本語を事前に十分理解したうえで受験していただいて下さいね。< ●試験官の方が終了時刻 30 分前など前のホワイトボードに書いてくださり助かりました。●初めての挑戦で全くの自学だったので、コンビニのプリントサービスがとても助かりました。これからも続けて下さい。->今後、さらにコンテンツを増やしてまいります。< ●うまい具合にひっかけ問題にだまされたもんだなあ。よく見てないとひっかかる問題があって、こいつは…と思ったですよ。しかしながらこういう試験があるとマイナーなイタリア語もやる気になるもんですな。5 級 ●リスニングや文章問題はふつうだけど、最後の長い長い文章問題はコリヤ難



しい。勉強しろってことですね、ええ。いつもは壁に話しかけてイタリア語を使っているけど、試験で自分がどんなもんか試すのは良い機会ですね。あーっと、勉強しよーっと。5級 ●留学をしていたのですが、どんどん日本の生活に慣れてしまうとイタリア語を忘れていく一方で、今回もう一度イタリア語を取り戻そうと検定試験を受けさせて頂きました。目標があると勉強にも精が出ます。また頑張りたいと思います。準2級 ●難しかったです！語彙力の少なさを痛感しました。準2級の次は2級ですが、札幌で二次試験を受けられないのでハードルが高いです。でも準2級までは札幌で受けられるので、勉強の励みになります！ありがとうございます。●今回少し難しかった。年をとっていますが、この検定を励みにイタリア語やイタリア文化の知識を深めています。対策用の問題集や単語集など2級以上向けに充実して欲しいと思います。英検1、2級はたくさんありますよ。●会議センターの入り口に会場案内があった方が良かったと思います。今回の会場は隣の席との距離や座り心地を含め良かったです。また希望します。横浜 -> 次回は案内表示を改善します。< ●2年ぶり、2回目の3級です。前より解けるようになった（気がする）のですが、やはり、リスニング、文法、記述をバランス良くできるようにするのは難しいと改めて思いました。安易に合格させてもらえない方が、勉強を続けるのには良いのだと思います。また勉強します。ホワイトボードの文字は太いペンで書いて欲しいです。横浜 ●リスニングの後半と文法問題が過去問題より難しく感じ、まだまだ勉強不足だなと感じました。現在大学1年でイタリア語の勉強を始めて1年になります。大学の授業はもうありませんが、イタリア語が好きになったので、これからも趣味として勉強していきたいと思います。これからもよろしく願いいたします。3級 ●単語の勉強を次回から頑張っていきたいと思います。前回は書かせて頂いたのですが、過去問のCDを2回分収録していただくと助かります。->CDの収録時間に制限があるので、現状でお許しください。< ●過去問にもっとしっかり取り組んでおくべきでした。単語が難しいので、基本的な単語はしっかり覚えておくことが大事でした。（性・単数も）5級 ●5級から3級までは何とかクリアできたが、今回の準2級は付け焼刃ではいけないことが良くわかった。また、基本からじっくりやり直します。準2級 ●大学でイタリア語を学んでいるのですが、学んだ証として資格をとっておきたいと思いつつ受験に至りました。あまり修学者の多くない言語なので、維持は大変かと思いますが、こういった指標を示してくれるととても助かります。4級 ●普段は大学で文献を読むためにイタリア語を独学で学んでいるのですが、やはり体系的なイタリア語を学んでいないのでこういう場では全くわからないというのが痛い程にわかりました。難しい。4級 ●ずっと咳する方がいて、途中で移動されたが、リスニングの際に少し困った。最初から移動させてあげたら彼女も安心したと思う。気づくのが遅い（咳は仕方ないけれど）。子供がいるのはわかっているはず。初めから前で（または端で）受験させるべきです！5級京都 ●試験官の方々が落ち着いた感じだったので緊張せずに受けられました。空調などにも気を配ってくれました。後半はちょっと寒かったです。3級札幌 ●きれいな会場で落ち着いて受験できてとても良かったです。たまにしか行けない大学も良いですが、古いので、こういう会場はありがたいです。問題の訂正の案内がありました。問題冊子を開くか開かないかの明確な指示が欲しかったです。まじめな人は開けていませんでしたが、開いた人は少し有利だと思いました。3級横浜 -> 今後は、問題の訂正のやり方も、しっかりマニュアル化いたします。< ●ヒアリングのCDがぶちぶちととぎれるのが、聞きにくかったです。準2級大阪 -> 使用した装置（DVD/CD 兼用機）に問題があったようです。新しいCDプレーヤーを導入するよう、会場とも確約しました。<

#### 事務局よりホームページ活用のお願い [www.iken.gr.jp](http://www.iken.gr.jp)

イタリア語検定試験のお知らせだけでなく、イタリア関係の情報・学校・リンク集など情報を満載しております。過去の問題もe-ラーニング・システムで配信しておりますし、コンビニプリントで過去問販売もはじめました。また、情報交換の場として掲示板をご用意しています。ご活用いただければ幸いです。ご要望等、メール ([info@iken.gr.jp](mailto:info@iken.gr.jp)) でお寄せください。

#### — 訃報 —

実用イタリア語検定の立ち上げに尽力し、21年あまりにわたって事務局長として無報酬で検定協会を運営してきた松本秀子が突然の病のため、2015年12月27日に永眠いたしました。失ったものは余りにも大きいのですが、検定試験は従来と変わらず実施して参りますので、どうぞ宜しくお願いいたします。

検定試験の立ち上げと運営に際し、多大なご協力をいただいた西村暢夫先生から松本秀子を偲んで一文を寄稿いただきましたので、以下に掲載いたします。

#### 故松本秀子さんを偲んで

二十数年前のある日、松本さんから会いたいと連絡がありました。イタリア語の検定試験を行う組織を日伊学院と文流で共同で立ち上げようという提案でした。私はその場で賛成し、「やりましょう」と答えました。試験問題の作成は日伊学院と文流が経営していたリンガビーバ・イタリア語教室の先生たちが担当しました。

松本さんは検定協会の生みの親でしたが、誕生した子供を育てる点では、私心を捨て、大きな社会的目標のために献身的に働いて下さいました。日伊学院と文流という2つの会社が仲良く、共同事業として支えてこられ、今は大学などの他の先生方の協力も得てNPO法人という独立した体制にまで充実できたのは、松本さんの高い志とumanesimo（人間主義）の人柄のおかげだと思います。

昨年、イタリア語検定協会主催で、北海道でイベントを開く際、松本さんはイタリアのスローフード運動を紹介したいからと、私に講演者を紹介してほしいと相談がありました。私は日本のスローフード協会の石田雅芳代表を紹介しました。松本さんはイタリアのスローフード運動のumanesimoに関心があったと思います。

またお会いして、一緒になにかやりましょうと言いたいです。

(株)文流取締役会長 西村 暢夫

#### <2016年度の試験日程ご案内>

◆第43回 2016年10月2日(日)

◆第44回 2017年3月5日(日)